

令和六年十月吉日

家庭に関する学科等で学ぶ生徒の採用に関する要望書

全国高等学校校長協会家庭部会
理事長 小川 剛
同 進路調査研究委員会
委員長 高木 伸一

家庭に関する学科等においては、将来の生活産業を担うスペシャリストの育成を目指し、知識・技術の習得はもとより、学習の定着をより確実にするため、公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会主催、文部科学省後援による家庭科技術検定(被服製作技術検定、食物調理技術検定、保育技術検定)などにも取り組んでおります。さらに、課題研究やインターシシップなどの体験的な学習を重視して、実践力やコミュニケーション力、豊かな人間性を育んでおります。就職を希望する生徒は、衣食住・保育や福祉といった、人々の生活に密接に関係した学びから得た専門性を活用して、生活の質を向上させるものづくりやヒューマンサービスを通して社会に貢献したいという熱意にあふれております。このような人間生活の基本を真摯に学ぶ若者に対して就業の機会を確保することは、私たちの切実な願いであります。

貴団体におかれましては、就職希望者が自らの進路実現を図ることができるように、各都道府県下の企業との連携により、求人や採用に際して、左記の事項に特段のご高配を賜りますよう、全国高等学校校長協会家庭部会の総意によってお願い申し上げます。

記

一 家庭に関する学科等で学ぶ生徒が希望をもって社会に踏み出せるよう、生活産業に関わる企業等における採用枠の拡大及び安定的な採用。

二 採用選考において、家庭科技術検定、課題研究や学校家庭クラブ活動などの成果を尊重・重視した評価の導入並びに推進。